

平成29年12月14日

平成29年第3回神奈川県議会定例会

経済・産業対策特別委員会資料

目 次

ページ

地方創生について

- 1 地方創生の取組みについて ······ 1

最先端医療・未病産業について

- 2 最先端医療・未病産業の推進について ······ 10

参考資料 ME-BYO 未来 戦略ビジョン

1 地方創生の取組みについて

(1) 趣旨

- ・ 本県では、神奈川の人口分析と将来展望を示した「神奈川県人口ビジョン」（以下、「人口ビジョン」という。）及び人口減少と超高齢社会を力強く乗り越えていくため、平成27年度からの5年間を対象期間とし、4つの基本目標と具体的な施策等をとりまとめた「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）を平成28年3月に策定し、地方創生の取組みを進めている。
- ・ また、地方創生の取組みを効果的に進め、併せて、県民の皆様に進捗状況をわかりやすく示すため、KPI（重要業績評価指標）を追加し、平成29年3月に「総合戦略」を一部改訂した。

(2) 地方創生の推進

ア 総合戦略の推進

「人口ビジョン」では、「人口減少に歯止めをかける」「超高齢社会を乗り越える」という克服すべき2つの課題の解決に向け、「『合計特殊出生率』の向上」「『マグネット力』の向上」「『未病』の取組みによる健康長寿社会の実現」の3つのビジョン等を整理した。

これを受け、「総合戦略」では、「県内にしごとをつくり、安心して働くようにする」「神奈川への新しいひとの流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「活力と魅力あふれるまちづくりを進める」の4つの基本目標を掲げ具体的な取組みを進めている。

イ 市町村との連携による地方創生の推進

神奈川の地方創生を実現するためには、市町村と連携した取組みが重要である。そこで、市長会議、町村長会議、地域別首長懇談会など様々な場を通じて、知事と市町村長等による意見交換を行っている。また、県・市町村間行財政システム改革推進協議会地方創生部会においても、実務担当者による意見交換や協議を行い、市町村と緊密な連携をとりながら、地方創生の取組みを進めている。

<平成29年度 県・市町村間行財政システム改革推進協議会地方創生部会の開催状況>

- ・ 第1回 平成29年6月8日 県・市町村の総合戦略の取組み、リーサスを活用した人口や観光等のデータ、地方創生に関する交付金の活用状況などを共有し、地方創生推進の課題等について意見交換。
- ・ 第2回 平成29年9月5日 第1回会議、その後に実施した市町村アンケートなどで浮かび上がった主な課題をテーマとして設定し、計画後半の地方創生の取組みに向けた意見交換。

(3) 総合戦略による取組み

神奈川の地方創生は、県と市町村がしっかりと連携しつつ、国の交付金も活用し、着実に取組みを進めている。

ア 基本目標

基本目標1 県内にしごとをつくり、安心して働くようにする

本県の成長力を生かした神奈川らしい成長産業の創出などを通じて、経済のエンジンを回すことにより、県内にしごとをつくり、安定した雇用を生み出すことをめざす。

＜数値目標＞

県外・国外から立地した事業所数（累計）：2019年度 125件 等

基本目標2 神奈川への新しいひとの流れをつくる

神奈川のマグネット力を高め、神奈川のライフスタイル、先進的な社会モデル、地域資源を活用した魅力などを発信することで、国内外からヒト・モノ・カネを引きつける。また、各地域のマグネット力を高め、地域活性化を図り、人を呼び込み、定住人口の増加を図る。

＜数値目標＞

三浦半島地域の社会増減数：2019年 0人

県西地域の社会増減数：2019年 0人 等

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚から子育てまでの切れ目ない支援や女性の活躍支援を通じて、安心して結婚、出産、子育てができる環境を整えるとともに、妊娠・出産などに関する知識の普及やライフキャリア教育を進め、若い世代の希望の実現を図る。

＜数値目標＞

希望出生率の実現：2019年 1.42 等

基本目標4 活力と魅力あふれるまちづくりを進める

既に超高齢社会が到来し、当面の人口減少が避けられない状況の中で、未病を基軸とした取組みや健康長寿のまちづくりを進め、超高齢社会を乗り越える社会システムを創っていく。また、人口が減少する局面にあっても、持続可能な魅力あるまちづくりを進めるなど、活力と魅力あふれるまちづくりの実現をめざす。

＜数値目標＞

「未病センター」認証数、「かながわ未病改善協力制度」の参加事業所数（累計）：2019年度 10,500箇所 等

イ 具体的な取組み <詳細は「別紙」参照>

ウ 地方創生にかかる国の交付金を活用した主な事業

地方創生の取組みを着実に進めていくため、国の財政支援を活用し取組みを進めている。

■地方創生推進交付金

	名称 (予算事業名)	事業概要
1	県西地域活性化プロジェクト推進事業 (県西地域活性化プロジェクト推進費)	<p>「未病バレー ピオトピア」を核として、「未病を改善する」取組みの普及を図るとともに、県西地域に点在する食・運動・癒しの拠点のネットワーク化を進め、県西地域の周遊性を向上させることで、国内外からの誘客を促進する。</p> <p>＜具体的な主な取組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「未病バレー ピオトピア」の整備等 ・未病を改善する地域資源の魅力向上及びネットワーク化 ・未病の普及啓発、未病改善につながる観光情報等の発信・誘客
2	三浦半島魅力最大化プロジェクト推進事業 (三浦半島活性化推進事業費)	<p>都心に近い位置にありながら、変化に富んだ海岸線や豊富な歴史的文化遺産、農水産業などをはじめとした多様な地域資源を生かし、観光と移住を柱として、多くの人が呼び込む様々な地域活性化の取組みを市町と連携して推進する。</p> <p>＜具体的な主な取組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三浦半島の観光の魅力を高める取組みの推進 ・「半島で暮らす」魅力を高める取組みの推進 ・三浦半島地域連携DMOの自立に向けた支援の実施
3	かながわシープロジェクト推進事業 (海洋観光推進事業費)	<p>マリンスポーツを柱として、SHONANの海の魅力の情報発信や、マリンスポーツやヨットの体験イベントを実施するほか、神奈川の海と陸の魅力を組み合わせた新たな観光を開拓することにより、神奈川の海に多くの観光客を呼び込み、地域の活性化を図る。</p> <p>＜具体的な主な取組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Webサイト「Feel SHONAN」による情報発信の実施 ・SHONANの海の特性と魅力を組み合わせたイベントの実施 ・子どもやファミリー層が気軽に体験できるヨットイベントの実施 ・かながわ海洋ツーリズムの推進
4	宮ヶ瀬湖周辺地域活性化計画 (宮ヶ瀬湖周辺地域活性化推進事業費)	<p>宮ヶ瀬湖周辺地域の自然、歴史、文化等にかかる地域の幅広い資源を最大限に活用し、拠点間の周遊性の確保、地域一体となった観光戦略、魅力向上のためのアクティビティの充実等を実施し、観光客を呼び込み、地域活性化を目指す。</p> <p>＜具体的な主な取組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアーの実施 ・観光プロモーションの実施 ・遊覧船リニューアル、セグウェイ導入への支援
5	神奈川の歴史を核とした観光振興事業 (神奈川歴史観光振興事業費)	<p>鎌倉、大山、横須賀の3地域が日本遺産に認定されたことをきっかけに、これらの地域と「新たな観光の核」候補地の城ヶ島・三崎地域、大磯地域などを、歴史をテーマに結び周遊ルートをつくることで、日帰り観光客に宿泊旅行を促し、更には新たな宿泊旅行需要を喚起していく。</p> <p>＜具体的な主な取組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の歴史的観光資源を紹介するガイドブック・リーフレットの作成 ・映像等を使ったプロモーションの実施 ・歴史的観光資源を活用したまち歩きツアーの企画支援

■地方創生拠点整備交付金

	名称 (予算事業名)	事業概要
1	セーリングレガシー継承施設等整備事業 (セーリング施設等整備事業費)	国内のみならず広く海外から来訪するセーラーの受け皿として、葉山港（葉山町堀内）の船舶保管地を拡張するとともに、セーリング体験会などの普及事業を実施し、国内外からの交流による地域の賑わい創出拠点として整備する。 ＜具体的な主な取組み＞ ・セーリング海上体験会等を実施 ・葉山港の船舶保管地の拡張
2	宮ヶ瀬湖周辺地域活性化計画 (宮ヶ瀬湖周辺地域施設整備費)	宮ヶ瀬湖周辺地域において観光を通じた地域活性化を推進するため、子どもから大人まで多くの人が自然の中で楽しみながら、体力も向上できるアクティビティ施設を、地域の賑わい創出拠点として整備する。 ＜具体的な主な取組み＞ ・グラススライダーの整備
3	施設園芸高度化技術開発・普及計画 (スマート農業促進事業費(国庫))	分散した小規模温室を集中的に自動制御し、農作業の省力化や農作物の高品質化等を可能とする環境制御技術の開発・普及を促進するため、農業技術センター（平塚市上吉沢）にＩＣＴ温室及び温室群の環境制御システムを整備する。 ＜具体的な主な取組み＞ ・ＩＣＴ温室（2棟）の整備 ・温室ネットワークの整備
4	かながわ都市型養豚推進計画 (畜産技術センター施設整備費)	都市における環境に配慮した効率的な肉豚の生産体制を実証するため、畜産技術センター（海老名市本郷）に生産性の高い飼養管理技術や施設の脱臭技術等の研究を行う環境制御型の養豚施設を整備する。 ＜具体的な主な取組み＞ ・養豚施設の整備
5	次世代ものづくり地域産業活性化計画 (試験研究拠点整備費)	今後急速な普及が見込まれるＩｏＴ関連機器、生活支援ロボット、医療用電子機器等の開発支援を行うため、(地独)神奈川県立産業技術総合研究所（旧産業技術センター）（海老名市下今泉）に評価試験等を実施する施設等を整備する。 ＜具体的な主な取組み＞ ・電波暗室、電磁シールド室、人工気象室の改修等

エ P D C Aによるマネジメントサイクル

総合戦略に示した施策の進捗状況について、成果や課題を分析し、必要な改善や見直しを図っていく。具体的には、基本目標ごとの数値目標や各事業のＫＰＩ（重要業績評価指標）などを基に、まず、府内で施策の進捗状況の確認を行い、評価・検証を行うとともに、その妥当性・客観性を担保するため、神奈川県地方創生推進会議から意見をいただき、施策・事業の評価・改善を図る。

＜参考：神奈川県地方創生推進会議による平成28年度の取組みにかかる全体評価のポイント＞

- ・ 平成28年度の進捗状況について、県の一次評価を踏まえ、神奈川県地方創生推進会議において4つの基本目標にかかる二次評価を行った結果、施策全体としては、概ね順調に進捗していると評価された。
- ・ 一方、2つの課題の克服や3つのビジョンの実現に向けては道半ばであり、これまでの取組みの検証を行い、引き続きしっかりと取り組むことの必要性、成果を県民が肌で感じられているかといった質的な側面にも配慮していく必要性も指摘された。

神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略 具体的な取組み

基本目標1 県内にしごとをつくり、安心して働けるようにする

(1) 未病産業

① 未病産業の創出・育成

- ・ 健康寿命の延伸に資する未病産業の創出・育成【政策局】

(2) ロボット産業

① ロボット関連産業の創出・育成

- ・ ロボットの実用化の促進【政策局、産業労働局】
- ・ ロボットの普及・定着の促進【保健福祉局、産業労働局】

(3) エネルギー産業

① エネルギー産業の振興

- ・ エネルギー関連産業への参入促進【産業労働局】

(4) 観光産業

① 観光産業の振興

- ・ 地域の観光資源を活用した体験型ツアーの促進【産業労働局】
- ・ 観光振興に資する交通基盤などの整備（路線バスの活用やシーレーン（海上交通路）の整備などの検討）【政策局、産業労働局、県土整備局】
- ・ 地域の产品的開拓や販路の開拓【産業労働局】
- ・ 観光振興を担う人材の育成【産業労働局】
- ・ 国家戦略特区等を活用した宿泊施設の多様化の取組み

【政策局、保健福祉局、産業労働局】

(5) 産業創出・育成

① 成長産業の創出・育成

- ・ 最先端医療関連産業の創出・育成【政策局】

② 産業集積の促進

- ・ 3つの特区などを活用した成長産業関連企業の誘致促進【政策局、産業労働局】
- ・ ベンチャーの起業化促進と育成支援、留学生などを含む若者、女性、高齢者などの起業化支援【産業労働局】
- ・ 工場立地のための土地利用に係る規制緩和【政策局、産業労働局、県土整備局】

③ 県内産業の成長促進

- ・ 中小企業の経営革新の促進【産業労働局】
- ・ 中小企業の必要とする人材とのマッチング【産業労働局】
- ・ 中小企業の事業承継支援【産業労働局】
- ・ 中小企業・小規模企業の創業や第二創業の促進【産業労働局】
- ・ 経営基盤強化や経営安定化、労働生産性の向上などへの支援を行う総合的な中小企業支援体制の整備【産業労働局】
- ・ 中小企業の海外展開支援【産業労働局】
- ・ 農林水産業の活性化【環境農政局】

(6) 就業の促進

① 就業の促進

- ・ 産業を支える人材の育成【産業労働局】
- ・ グローバル人材の育成【教育局】
- ・ 県内での就職を希望する留学生などへの支援【県民局】
- ・ 外国人材の育成・活用と地域社会への受入れ支援
【県民局、保健福祉局、産業労働局】
- ・ 高齢者、女性、若年者及び障がい者の就業支援【産業労働局】
- ・ 農林水産業の新たな担い手の育成・確保の推進【環境農政局】
- ・ 安心して働ける労働環境の整備【産業労働局】

基本目標2 神奈川への新しいひとの流れをつくる

(1) 神奈川ライフの展開

① 神奈川ライフの展開による移住・定住の促進

- ・ 地域の魅力を生かした移住の促進【政策局】
- ・ くらしとしごとの相談・支援【産業労働局】
- ・ 外国人留学生の増加促進と卒業・修了後の地域社会への受入れ支援
【政策局、県民局、教育局】

(2) 神奈川モデルのショーケース化

① ヘルスケア・ニューフロンティアの発信

- ・ ヘルスケア・ニューフロンティアの取組みの発信【政策局】

② エネルギー自立型の住宅・ビル・街の形成をめざす神奈川の発信

- ・ エネルギー自立型の住宅・ビル・街の形成をめざす神奈川の姿の発信【産業労働局】

③ ロボットと共生する神奈川の発信

- ・ ロボットと共生する社会をめざす神奈川の取組みを発信【産業労働局】

(3) 観光プロモーションの推進

① 外国人観光客の誘致促進

- ・ 外国人観光客の誘致を図るプロモーションの推進【産業労働局】

② 国内観光客の誘致促進

- ・ 神奈川の魅力を伝えるプロモーションの推進【産業労働局】

(4) 地域資源を活用した魅力づくり

① 県西地域活性化プロジェクトの推進

- ・ 「未病を治す」取組みの推進【政策局、保健福祉局】
- ・ 県西地域の自然環境などを生かした観光の振興【政策局、環境農政局】

② 三浦半島魅力最大化プロジェクトの推進

- ・ 三浦半島の観光の魅力を高める取組みの推進【政策局】
- ・ 「半島で暮らす」魅力を発信する取組みの推進【政策局】
- ・ 三浦半島における宿泊型観光の推進【政策局、産業労働局】
- ・ 漁港等の多目的利用の促進【政策局】

③ かながわシープロジェクトの推進

- ・ マリンスポーツを楽しめる環境の整備【政策局】
- ・ 神奈川の海の魅力をパッケージで発信する「Feel SHONAN」キャンペーンの展開【政策局】

④ マグカルの推進

- ・ 地域の文化資源を生かしたマグカルの全県展開【県民局】

⑤ 地域のマグネットとなる魅力づくり

- ・ 新たな観光の核づくりの推進【産業労働局】
- ・ ダム湖と周囲の自然環境を生かした水源地域の活性化【政策局、環境農政局】
- ・ 観光資源の発掘と磨き上げ（歴史、文化、食、商店街、伝統工芸・芸能）【産業労働局】

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

（1）結婚から育児までの切れ目ない支援

① 若い世代の経済的基盤の安定、社会的自立に向けた支援

- ・ ライフキャリア教育の促進【県民局】
- ・ 若者の就業支援【産業労働局】
- ・ 困難を有する青少年の相談・支援の充実【県民局】

② 結婚の希望をかなえる環境づくり

- ・ 結婚に向けた機運の醸成【県民局】

③ 妊娠・出産を支える社会環境の整備

- ・ 母子保健の推進【県民局、保健福祉局】
- ・ 思春期から妊娠適齢期の男女を対象とした健康相談や健康教育【保健福祉局】
- ・ 産科医の確保・育成【保健福祉局】
- ・ 不妊治療に対する支援【保健福祉局】
- ・ 周産期救急医療体制の整備・充実【保健福祉局】

④ 子育てを応援する社会の実現

- ・ 社会全体で多様な子育てを応援する環境づくり【県民局】
- ・ 保育環境の整備【県民局、保健福祉局】
- ・ 保育人材の確保・育成やニーズに応じた幼児期の教育・保育の提供【県民局】
- ・ 多子世帯の支援【県民局、県土整備局】
- ・ 多世代近居の推進【県民局、県土整備局】
- ・ 子育て世代に対する総合的な支援【県民局、保健福祉局】
- ・ 子どもの貧困対策の推進【県民局】
- ・ 小児救急医療体制の整備・充実【保健福祉局】
- ・ 子どもの未病を治す基礎づくり【保健福祉局、教育局】
- ・ 若い女性の未病対策【保健福祉局】
- ・ 放課後児童クラブをはじめとした子どもの放課後などにおける育ちの場の整備

【県民局、教育局】

- ・ 高校生などへの就学支援の充実【県民局、教育局】
- ・ 生徒の個性や能力を伸ばす質の高い県立高校の教育の充実と魅力ある学校づくり

【教育局】

(2) 男女共同参画の推進

① 女性の活躍支援と男女共同参画の推進

- ・ 男女の役割分担意識の改革や意識啓発に向けた取組みの推進【県民局】
- ・ 女性の活躍の推進【県民局、産業労働局】
- ・ 女性登用の促進【県民局、産業労働局】

(3) 働き方の改革

① 多様な働き方ができる環境づくり

- ・ 企業などに対するワーク・ライフ・バランスの普及啓発【産業労働局】
- ・ 企業へのテレワークの導入推進【産業労働局】
- ・ 男性が育児参加できる環境づくり【県民局、産業労働局】
- ・ 子ども・子育てを支援する企業の認証【県民局】

基本目標4 活力と魅力あふれるまちづくりを進める

(1) 健康長寿のまちづくり

① 未病を治す環境づくり

- ・ 子どもの未病を治す基礎づくり【保健福祉局、教育局】<再掲>
- ・ 若い女性の未病対策【保健福祉局】<再掲>
- ・ こころの健康づくりの推進など勤労者層への未病対策【保健福祉局】
- ・ コグニサイズの展開など高齢者への未病対策【スポーツ局、保健福祉局】<再掲>
- ・ 未病センターや県立都市公園など身近な場所で未病を治す場の提供や環境づくり
【保健福祉局、産業労働局、県土整備局】
- ・ ME-B YOタウンの形成促進【政策局】
- ・ 未病に関する総合的な普及啓発を行う拠点施設「未病いやしの里センター（仮称）」の設置推進【政策局】
- ・ スポーツのあるまち・くらしづくり【スポーツ局】

② 高齢になっても活躍できる社会づくり

- ・ 健康団地の取組みの推進【保健福祉局、県土整備局】
- ・ サービス付き高齢者向け住宅の供給促進など高齢者をとりまく居住環境の安定確保
【保健福祉局、県土整備局】
- ・ C C R C の取組み【政策局】
- ・ 介護人材の定着・確保と介護保険施設の計画的整備の促進【保健福祉局】
- ・ コグニサイズの展開など高齢者への未病対策【スポーツ局、保健福祉局】
- ・ 認知症の人や家族などに対する総合的な支援【保健福祉局】
- ・ 福祉サービスを安心して利用することができるしくみづくり【保健福祉局】
- ・ 福祉コミュニティづくりを担う人材の育成・定着【保健福祉局】
- ・ 地域包括ケアシステムの構築【保健福祉局】
- ・ 地域のニーズに対応した医療体制の整備・充実【保健福祉局】
- ・ シルバー世代の就業や起業の支援【産業労働局】

(2) 持続可能な魅力あるまちづくり

① 人口減少社会に対応したまちづくりの推進

- ・ 空き家対策の推進【県土整備局】
- ・ 都市機能の集約化などの推進【県土整備局】
- ・ 県有地・県有施設の有効活用【総務局】

② 個性豊かなまちづくりの推進

- ・ 地域の特色を生かしたまちづくり【県土整備局】
- ・ 都市拠点の整備と環境と共生するまちづくり【県土整備局】
- ・ エネルギー自立型の住宅・ビル・街の形成【産業労働局】
- ・ 神奈川らしいコミュニティ・スクールの導入による地域の新たなコミュニティの核となる学校づくり【教育局】

③ 安全で安心なまちづくりの推進

- ・ 自助・共助の取組み促進【安全防災局】
- ・ バリアフリーのまちづくりの推進【保健福祉局、県土整備局、警察本部】

(3) 交通ネットワークの充実

① 交流と連携を支える道路網の整備・活用と鉄道網の整備など

- ・ 交流幹線道路網の整備【県土整備局、警察本部】
- ・ 道路網の有効活用【県土整備局、警察本部】
- ・ 鉄道網の整備促進【県土整備局】
- ・ 路線バスなどの公共交通の充実・確保【県土整備局】

※「未病の改善」について

「未病の改善」については、当初「未病を治す」と表現していましたが、平成28年度以降「未病を改善する」として発信していくこととしております。なお、この別紙「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略 具体的な取組み」の中で、「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」(平成28年3月策定)の記載をそのまま引用している箇所については、一部「未病を治す」と記載しています。

2 最先端医療・未病産業の推進について

(1) ヘルスケア・ニューフロンティアについて

「最先端医療・最新技術の追求」と「未病の改善」という2つのアプローチを融合し、健康寿命日本一と新たな市場・産業の創出を目指すヘルスケア・ニューフロンティアの取組みを推進する。



(2) 最先端医療産業の推進に関する取組み

最先端の医療技術を県民に還元するため、革新的な医薬品や医療機器、再生医療等製品の開発・実用化に向けた取組みを推進する。

平成29年度は、「ライフイノベーションセンター」を核とした再生・細胞医療の実用化・産業化をはじめ、医療機器の開発促進、医薬品等の治験・臨床研究の促進等に取り組んでいる。

ア 再生・細胞医療の実用化、産業化の促進

(ア) 「再生・細胞医療産業化共同プロジェクト」による事業化支援の実施

再生・細胞医療分野において、研究シーズを早期かつ着実に実用化につなげるため、県内の中小企業やベンチャー企業等が取り組む、9件の先進的な再生・細胞医療関連のプロジェクトに対して、事業化に向けた支援を行っている。

(イ) ライフイノベーションセンターを核とした産業化の促進

次世代の医療として高い成長が期待される再生・細胞医療分野について、その産業化拠点として「ライフイノベーションセンター」を公民共同で整備し、平成28年4月にオープンした。

また、同センターを核として、国や業界団体、海外関係機関など多様な主体が参加・連携して、新たなイノベーションを創出することを目的とする「かながわ再生・細胞医療産業化ネットワーク（RINK）」を同年10月に設立し、国内外からの企業・研究機関等の集積と、有望な技術の実用化・産業化の促進を図っている。

a 入居事業者

有望な技術を有する事業者の集積に向けた誘致活動を行い、本年度に新たに3社の入居を公表した。これにより26の企業・団体が同センターへの入居を公表している。

【新たな入居事業者の概要】

事業者名	事業内容
シスメックス㈱	人工知能技術やバイオシミュレーション技術 ^(※1) など最先端の情報解析技術の医療への応用に関する研究開発
三菱倉庫㈱	再生・細胞医療の物流プラットフォームの構築（バンкиング・輸送等）
アズワン㈱	細胞培養施設の提供や細胞培養等に関する技術指導を通じた人材育成、細胞・遺伝子解析の受託サービス等

（※1） 生体内で複雑に相互に関与しあう反応や機能を、数値計算によって再現し、予測する技術

イ 東北大学東北メディカル・メガバンク機構との連携

ヘルスケア分野の研究成果の実用化促進等を図るため、平成29年5月30日に東北大学東北メディカル・メガバンク機構と連携協定を締結した。かながわクリニカルリサーチセンター内に、同機構の持つ大規模ゲノムコホート研究やゲノム情報等の解析データの利用を可能とする遠隔セキュリティエリア（ビッグデータ等利用可能な外部端末）を設置した。同機構のビッグデータ活用に向けた協定の締結は、自治体として初めてである。

（3）未病産業の推進に関する取組み

子どもから高齢者までライフステージに応じた「未病を改善する」取組みや、市町村の取組みとも連携しながら、超高齢社会において成長産業となり得る、神奈川発の「未病産業」の拡大に向けた取組みを推進する。

平成29年度は、未病産業研究会を中心に、大学や研究機関、企業等と連携し、未病関連商品やサービスの事業化促進や、未病コンセプトの普及などの取組みを進める。

ア 未病産業の創出

（7）ME-BYOサミット神奈川2017<詳細は「参考」参照>

a 國際シンポジウム「ME-BYOサミット神奈川2017 in 箱根」

- ・ 開催日 平成29年10月20日（金）～21日（土）
- ・ 場 所 湯本富士屋ホテル（箱根町）
- ・ 内 容

国内外から有識者を招聘し、個人の行動変容を促す「未病指標」のあり方や未病改善を支える社会システムについて議論を行った。

21日には、一般県民の方を対象に、国際シンポジウムと体験プログラム（箱根やすらぎの森「森のふれあい館」での森林セラピー）を各半日参加する未病改善体験ツアーを実施し、21名が参加した。

また、WHOが推進する、高齢者に優しい地域づくりに取り組む自治体等の国際的なネットワークである「エイジフレンドリーシティ」に県内の19市町が県の働きかけにより参加し、国際シンポジウム「ME-BYOサミット神奈川2017 in 箱根」においてWHOから各市町に参加承認証明書が交付された。

【参加市町】

横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町、大和市、藤沢市、伊勢原市、大磯町、小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町

- ・ **結果概要**

海外・国内招聘者、協賛企業、アカデミア、関係団体、県民及び行政等参加者は延べ520名。

2日間の議論を踏まえ、100歳になっても健康で生きがいと笑顔あふれる健康長寿社会（「スマイル100歳社会」）の実現に向け、個人や企業、アカデミア、行政等の役割と行動目標を定めた共通の認識を持って行動していくための「ME-BYO 未来 戦略ビジョン」<「参考資料」参照>を採択し、共に行動していくことを確認した。

- b 展示会「ME-BYO Japan 2017」

- ・ 開催日 平成29年10月11日（水）～13日（金）

- ・ 場 所 パシフィコ横浜（横浜市）

- ・ 内 容

アジア最大規模のバイオテクノロジー分野の展示会「Bio Japan 2017」の一角落に、未病に関するエリアを設置し、最先端の未病関連商品・サービスを一堂に集め、国内外に向けて未病産業の最新動向等を発信した。

- ・ **結果概要**

来場者数は、3日間で約16,000人。協賛企業・団体・アカデミアが未病関連商品・サービスの展示やプレゼンテーション、ビジネスマッチングを行うとともに、市町、アカデミアが未病に関する取組みや研究成果等の紹介を行った。

- c 市町村との連携事業（県民フォーラム、ME-BYOキャラバン）

10月の「未病月間」を中心、市町村等との共催で県民フォーラムを開催したほか、市町村等が開催する健康や産業関連イベント等にブースを出展するME-BYOキャラバンにより、未病概念や未病産業の動向等、未病に関する様々な取組みについて普及を図った。

【結果概要】（平成29年12月1日現在）

- ・ 県民フォーラム 實施回数 5回

- 参加者数 約8,900人

- ・ ME-BYOキャラバン 出展イベント数 22市町村27イベント

- 来場者数 約11,000人

(4) 未病産業研究会

未病改善に資する商品・サービスを提供する「未病産業」の育成を図ることで、健康寿命の延伸と経済の活性化を目指す。

- a 会員数 511法人（平成29年12月1日現在）

- b 取組内容

- ・ セミナー、勉強会、事例発表会による情報交換及び情報共有
- ・ ビジネスマッチング
- ・ 産学連携の促進

- c 開催状況

<平成29年度第1回研究会>

- ・ 開催日 平成29年8月25日（金）

- ・ 場 所 ワークピア横浜

- ・ 議題 未病の取組み、未病指標の概要と社会実装のための産業導入 等

<第2回未病産業研究会>

- ・ 開催日 平成29年11月27日（月）
- ・ 場 所 ワークピア横浜
- ・ 議 題 ME-B YO 未来 戦略ビジョン等紹介、産学連携・企業プレゼン等

(4) ME-B YO BRAND認定制度

a 認定制度の概要

優れた未病産業の商品・サービスを県が認定することにより、県民の未病改善の取組みを促進するとともに、未病産業の魅力を広め、産業化の牽引を図る。

b 新たな認定

新たに次の3件の商品・サービスを「ME-B YO BRAND」として認定した。（平成29年9月6日）

分野	商品・サービス（企業名）	概 要
生活習慣改善	ファンケル学べる健康レストラン/ファンケル健康メニュー (株)ファンケル	健康的で美味しく満足感のある「食」と健康づくりに必要な「学び」を社員食堂などで提供するサービス。 未病コンセプトや健康づくりに関する知識の普及を図るとともに、健康のための食を提供することで生活習慣の改善につながることが期待できる。
ロコモティブシンドローム予防	ロコミル・アンチロコモ教室 (アルケア株)	・ロコミル 下肢筋力を数値化し、見える化する健診事業。 ・アンチロコモ教室 一人ひとりの下肢筋力に合わせた運動プログラムを提供。 ロコモの状態を見える化し、個人別の改善プログラムを提供することでロコモティブシンドロームの予防が期待できる。
メンタルヘルスケア	簡易疲労・ストレス測定システム (株)疲労科学研究所	小型の機器を使用して脈波及び心電波を測定し、自律神経のバランスや活動量を計測することで、疲労・ストレスの状態をスマートフォン等に表示するシステム。 疲労・ストレスの状態を見える化することで、企業等が行う従業員の健康管理に役立てることが期待できる。

<参考>これまでの認定

商品・サービス（企業名）	認定日
MIMOSYS（ミモ시스）®（PST株）	平成27年5月27日
アミノインデックス®（味の素株）	平成27年8月17日
Plant Plant™（三菱ケミカル株）	平成27年10月5日
ロボットスーツHAL®シリーズ及びロボットスーツを活用した未病改善トレーニング「HALFIT®」 (湘南ロボケアセンター株・CYBERDYNE株)	平成28年9月6日
遺伝子検査サービス「MYCODE（マイコード）」 (株)DeNAライフサイエンス)	平成28年9月6日
脳梗塞リスク評価サービス（株）アミンファーマ研究所	平成28年9月6日

「Plant Plant™」（完全人工光型植物工場）について、同工場で生産した「キュアリーフ™」（ベビーリーフ）から農薬等成分が検出され、同社は平成29年10月25日より自主回収を行った。また、同社からの申し出に基づいて、平成29年10月31日より「Plant Plant™」について、「ME-B YO BRAND」の認定を一時停止することとした。

(I) 神奈川ME-BYOリビングラボ

県民が安心して未病改善の実践に取り組むとともに、未病産業の持続的発展を促進するため、市町村やCHO構想を実践する企業等と連携し、未病関連商品・サービスについて実証・評価する仕組みを構築する。

この仕組みを活用して、県民の意識・行動変容につながる商品・サービスの機能・効果等を検証する実証事業を進めている。

イ CHO（健康管理最高責任者）構想の推進

(ア) CHO構想推進事業所の登録事業

CHOを設置して健康経営に取り組む企業や団体の事業所を、「CHO構想推進事業所」として登録する事業を、7月20日から開始した。

登録事業所については、県のホームページや事例集で事業所名等を紹介するほか、健康経営に関する情報提供を行うなど、企業や団体の健康経営の取組みを支援する。

・登録事業所数：115事業所（12月1日現在）

(イ) 企業対抗ウォーキングの実施

企業や団体を募集し、「マイME-BYOカルテ」を活用した、企業対抗ウォーキングを、7月25日から開始した。

・参加事業所数：35事業所（12月1日現在）

(4) 最先端医療・未病産業を推進する基盤づくり

最先端医療・未病産業を推進する基盤づくりに取り組む。

平成29年度は、県民や企業など様々な主体が健康情報を利活用することを目指す「ヘルスケアICTの推進」、「グローバル戦略」、「ヘルスイノベーションスクール」、「ヘルスケア・ニューフロンティア・ファンド（仮称）」、「3つの特区の活用」等を進めている。

ア ヘルスケアICTの推進

(ア) マイME-BYOカルテの取組み

平成28年3月から運用開始した、自分自身の健康情報を記録・管理する「マイME-BYOカルテ」について、新たにスマートフォン用のアプリケーションを作成し、平成29年4月に公開した。

「マイME-BYOカルテ」のより一層の普及拡大を図るため、民間のウォーキングアプリへの観光スポットを巡るウォーキングコースの掲載や、ポケモンGOとコラボしたウォーキングマップの配布などを、県内30市町村と連携して実施した。

また、横浜D e N Aベイスターズなど県内5つのプロスポーツチームの協力のもと、10月26日から12月2日にかけて、ツイッターなどを活用した「マイME-BYOカルテ」普及拡大キャンペーンを実施した。

(イ) 電子母子手帳の取組みの拡大

平成28年9月からマイME-BYOカルテと連携した「電子母子手帳」の運用を進めており、平成29年4月以降、新たに6市町が参加し、計19市町に取組みが拡大した。

・平成29年4月以降参加した市町 秦野市、中井町、山北町、箱根町、二宮町、
湯河原町

・参加済みの13市町 横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、逗子市、
伊勢原市、寒川町、大磯町、大井町、松田町、開成町、愛川町

イ グローバル戦略

(7) MOU締結先との連携強化

a 「オウル・神奈川 医療ヘルスケア機器ビジネス交流会」の開催

フィンランド・オウル市からの企業ミッション団の来日に併せ、県内企業の技術・製品のオウルでの実用化やオウル企業との事業連携を図るため、ビジネス交流会を4月17日に開催し、31名が参加した。

b 「ヘルスケア・ニューフロンティアシンポジウム」の開催

スタンフォード大学等国内外から医薬品開発に携わる関係者を招き、医薬品開発の加速化に向けたビッグデータ等の活用について議論するシンポジウムを5月29日に開催し、144名が参加した。

c スタンフォード大学とのシンポジウム等の共催

- ・ 開催日 平成29年11月8日（水）～9日（木）
- ・ 場 所 米国スタンフォード大学
- ・ 内 容

スタンフォード大学との共催で、国際的な共同研究を進めることを目的とするシンポジウム及び専門家会合を開催し、再生・細胞医療の実用化やビッグデータの活用に向けた先進的な研究等について議論を行った。

・ 結果概要

国内外のアカデミアや製薬企業など約120名が参加し、本県からは、ライフィノベーションセンターにおける再生・細胞医療の産業化やヘルスイノベーションスクールにおける人材育成の取組みを紹介し、スタンフォード大学との連携強化を図った。

(4) WHO（世界保健機関）との連携

a 「WHA70^(※2) Evening Seminar」の開催

5月下旬にスイス・ジュネーブで開催されたWHO総会に併せ、県のヘルスケア・ニューフロンティア政策や未病に係る先進的な技術を紹介するセミナーを現地で5月22日に開催し、62名が参加した。セミナーでは、各国政府関係者や研究者等に対して県の取組みをアピールした。

（※2） WHA70:World Health Assembly(第70回WHO総会)

b 「WHO&Kanagawa UHC 高齢化政策に関する高級実務者会合」の開催

WHO健康開発総合研究センター（WHO神戸センター）と連携し、ASEAN10か国の幹部職員の参加を得て「WHO&Kanagawa UHC 高齢化政策に関する高級実務者会合」を7月17日及び18日に開催し、10か国21名、日本側関係者35名の計56名が参加した。会合では、ASEAN各国での高齢化の現状、県の未病の取組みや神奈川発の最新技術などを題材に、超高齢社会を乗り越える方策について議論を行った。

c WHO幹部職員との意見交換会の開催

県からの派遣職員が所属する、WHOの高齢化部局「エイジング・アンド・ライフコース部」のジョン・ペアード部長を迎へ、7月18日に県議会と県の共催により、県議会議員及び県庁職員等との意見交換会を開催し、67名が参加した。意見交換会では、高齢化に関するWHOの考え方と県の未病コンセプトは方向性が一致していることや、県がWHOと連携する意義などについて意見交換を行った。

d WHO専門家会合

県の未病コンセプトとWHOのヘルシー・エイジング^(※3)に共通する基本的な方向性等について議論する専門家会合を10月19日に横浜で開催した。

また、11月21日及び22日にスイスでWHO主催の専門家会合が開催され、県から、未病指標の取組みなど10月の専門家会合及びME-BYOサミットにおける議論の結果を報告した。

(※3) ヘルシー・エイジング：高齢者が「単に病気でない」だけではなく、各々が満足できる生活を送れるようにすること。

e 市町村の「エイジフレンドリーシティ」への参加（再掲）

WHOが推進する、高齢者に優しい地域づくりに取り組む自治体等の国際的なネットワークである「エイジフレンドリーシティ」に県内の19市町が県の働きかけにより参加し、国際シンポジウム「ME-BYOサミット神奈川2017 in 箱根」においてWHOから各市町に参加承認証明書が交付された。

【参加市町】

横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町、大和市、藤沢市、伊勢原市、大磯町、小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町

f WHO学術誌「ブレティン」への掲載

WHOの学術誌「ブレティン」2017年11月号の「ヘルシー・エイジング」特集に協力し、知事のインタビュー記事を掲載して、超高齢社会を乗り越えるための県の取組みを世界に広く発信した。

ウ ヘルスイノベーションスクール設置に向けた取組み

(7) メディカル・イノベーションスクール設置検討委員会

保健、医療及び福祉分野における社会システムや技術の革新を起こすことができるイノベーション人材を養成する大学院研究科の内容を検討するため、有識者による「メディカル・イノベーションスクール設置検討委員会」や「メディカル・イノベーションスクール設置専門部会」を開催し、研究科における養成人材像や教育内容等について議論を行った。

<主な議論内容>

a 養成人材像

新研究科で養成する人材の進路として、①ヘルスケア産業従事者②健康医療政策担当者③大学、研究機関、企業の研究者等を想定することとした。

b 教育内容

疫学や生物統計学など公衆衛生学領域の基本分野に加え、イノベーション創出に必要となる先端技術やビジネスに関する科目などを想定することとした。

c 教員体制

教育内容に基づく多彩な分野の教員、未病コンセプトに基づく新たな研究領域を担う教員の確保を図っていくこととした。

d 設置場所

国内外から最先端の研究機関や企業、教育機関が進出している川崎市殿町地区において、より高度な教育を効率的に実現するため、研究機関や企業、大学との連携を図っていくこととした。

e 研究科の名称

保健、医療及び福祉分野におけるイノベーション人材を養成するという設置の趣旨に鑑み、研究科名称を「ヘルスイノベーション研究科」とすることが最もふさわしいという意見が出された。

県はこれらの意見を踏まえ、現段階の研究科の名称案を「ヘルスイノベーション研究科」とし、通称を「ヘルスイノベーションスクール」とすることとした。

f 開講時間

社会人学生など幅広い領域からの入学を想定し、必修科目の開講を夜間や土曜日とし、選択科目は平日の昼間を中心とすることとした。

g 英語による教育

修了生のグローバルな領域での活躍を想定し、英語だけでも修了できるよう、必修科目及び選択科目の一部について英語による教育の実施について、検討を進めたこととした。

(イ) ヘルスイノベーションスクールプレ講座の実施

平成31年のヘルスイノベーション研究科開設に向け、研究科における教育研究内容に関する模擬授業を実施し、学生の募集につなげる。

- ・ 日 時 平成29年9月22日（金）～12月15日（金）
- ・ 回 数 計5回

(ウ) 教員の確保

設置検討委員会等での教育内容等の議論を踏まえた授業科目等を担当する専任教員について、以下のとおり募集を行った。今後、研究科の教育研究を教授するにふさわしい優秀な人材を選考の上、内定する。

- a 募集期間 平成29年10月19日（木）～11月9日（木）
- b 応募者数 53名

エ ヘルスケア・ニューフロンティア・ファンド（仮称）

今後の成長が期待されるヘルスケア分野の産業創出及び社会的課題の解決に資するベンチャー企業等を支援する「ヘルスケア・ニューフロンティア・ファンド（仮称）」を組成・運営する無限責任組合員を10月4日に公表した。今後、当該無限責任組合員が本ファンドへの出資者を募集し、今年度中に組成する。

【無限責任組合員名称】

株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ

【特 徴】

- ・ ヘルスケア分野のベンチャー企業を対象に、創業初期の投資・育成を中心に行う。
- ・ 同社は、株キャピタルメディカ100%出資子会社であり、同グループのファンド運営実績の活用や、アセットとネットワーク（全国22の病院施設（約3,800床）や9の介護施設（約1,000床）等を経営）を、投資先企業のサービス、製品等の実証フィールドとして提供できることを最大の強みとしている。

オ 東京圏国家戦略特区

平成26年5月に指定を受けた東京圏国家戦略特区について、これまで次の規制緩和について、認定を受け、事業に取り組んでいる。

【これまで認定された規制緩和の特例】

規制の特例	事業実施主体
保険外併用療養に関する特例	東京大学医学部附属病院
	国立がん研究センター
	横浜市立大学附属病院
病床規制に関する医療法の特例	(医社) 葵会 (AOI国際病院)
	(公大) 横浜市立大学 (同大学附属病院)
臨床試験専用病床整備事業	(公大) 横浜市立大学 (同大学附属病院)
国家戦略特別区域限定保育士事業 (地域限定保育士試験の実施)	神奈川県
国家戦略特別区域家事支援 外国人受入事業	家事支援サービス企業 (株)ダスキン、(株)パソナ、(株)ボピンズ、(株)ベアーズ、(株)ニチイ学館、(株)ピナイ・インターナショナル
都市公園占有保育所等施設設置事業	横浜市
地域農畜産物利用促進事業	株いぶき (農家レストラン運営)
国家戦略都市計画建築物等整備事業	横浜駿馬西口駅前地区市街地再開発準備組合
国家戦略住宅整備事業	

カ 京浜臨海部ライフィノベーション国際戦略総合特区

特区の計画期間が、平成29年度から5年間延長されたことを受け、県内17区域で引き続き京浜臨海部におけるライフィノベーションの推進に取り組んでいる。

また、次の事業について、税制上の支援対象となる計画認定を受けた。

・支援措置 (設備等投資促進税制)

設備等の取得額の40% (建物等は20%) の特別償却

または取得価額の12% (建物等は6%) の税額控除

事業概要	事業実施主体	計画認定日
パーキンソン病やアルツハイマー病などの脳機能障害に対する治療に用いることができるウイルスの製造方法の研究、製造及び製造施設の運営	株遺伝子治療研究所 (製造方法の研究、製造)	平成29年3月27日
	Agilis GTRI Japan株 (製造施設の運営)	
すい臓がん等の難治性がん細胞を死滅させる免疫細胞を活性化するワクチン技術等の研究開発・製造事業	テラファーマ株	平成29年6月23日

「ME-BYOサミット神奈川2017」の結果概要

1 国際シンポジウム「ME-BYOサミット神奈川2017 in 箱根」

(1) 趣旨

国内外から有識者を招聘し、未病について幅広い議論を行い、未病改善の先進事例等を共有するとともに、持続可能な新たな社会システムの実現に向けた行動目標等を戦略としてまとめ、国内外に向けて発信した。

(2) 開催日・場所

平成29年10月20日（金）～21日（土）・湯本富士屋ホテル（箱根町）

(3) 参加者数

延べ520名（海外・国内招聘者、協賛企業、アカデミア、関係団体、行政、県民等）

(4) 内容

平成29年10月20日（金）

（敬称略）

開会	開会挨拶 松本 洋一郎 実行委員長、国立研究開発法人理化学研究所理事 黒岩 祐治 名誉実行委員長、神奈川県知事 来賓挨拶 佐藤 光 神奈川県議会議長 ビデオメッセージ 厚生労働大臣 加藤 勝信 ビデオメッセージ 日本医師会長 横倉 義武 ビデオプレゼンテーション スタンフォード大学麻酔科部長 Ronald G. Pearl
基調講演	大谷 泰夫 実行委員会委員、神奈川県参与、元内閣官房参与、一般社団法人日本健康生活推進協会理事長
特別講演	座長 松本 洋一郎 実行委員長 演者 Anarfi Asamoa-Baah WHO前事務局次長
特別講演	座長 土屋 了介 地方独立行政法人神奈川県立病院機構理事長 演者 向井 千秋 東京理科大学特任副学長
WHOエイジフレンドリーシティ参加承認証明書授与セレモニー	
ランチタイムプレゼンテーション	光吉 俊二 東京大学大学院医学系研究科 特任研究員 徳野 慎一 東京大学大学院医学系研究科 特任准教授
特別講演	座長 竹内 正弘 北里大学薬学部臨床医学(臨床統計学)教授 ハーバード大公衆衛生大学院アシヤンクトプロフェッサー 演者 山海 嘉之 筑波大学大学院 教授 CYBERDYNE株式会社 代表取締役社長/CEO 内閣府 ImPACT革新的研究開発推進プロジェクトマネージャー
セッション①	「ME-BYOの可視化と科学的エビデンス」 ・個人が未病コンセプトに基づき自分をコントロールするためには、未病状態を可視化する未病指標が必須であるとの共通認識のもと、どのような科学的エビデンスを取得するか、指標の活用方法等について、議論がなされた。 ・未病指標はWHOが構築しようとしている内在的能力（心身の能力）との共通性が高く、WHOと連携して研究を進めることが重要であるとの意見があった。 ・未病指標は、個人毎の将来リスクを予測するとともに、ICTといった最新技術や専門家の指導、コミュニティの活用などと併せて普及すること

	<p>で行動変容に繋げることが可能となり、社会で指標を活用していく中で科学的エビデンスを取得しながら精緻化していくことが必要という議論がなされた。</p> <p>モレーター 郑 雄一 東京大学大学院工学系研究科・医学系研究科教授 パネリスト 阿部 啓子 東京大学名誉教授・大学院農学生命科学研究科特任教授 (地独)神奈川県立産業技術総合研究所グループリーダー 小林 弘幸 順天堂大学医学部教授 森 妹子 味の素㈱アミノバイнес統括部アミノインテックスクール長 山崎 力 東京大学医学部附属病院臨床研究支援センター長 Islene Araujo de Carvalho WHOエイジング・アンド・ライフコース部政策戦略シニアアドバイザー Lee Jen Wei ハーバード大学公衆衛生大学院 生物統計学教授</p>
セッション②	<p>「ME-BYOと人材育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> 未病コンセプトの展開のためには、具体的なイノベーションを起こし、広げ、先に進めていける人材の育成が必要という共通認識のもと、そういった人材を育成するためのヘルス・イノベーションスクールの在り方について議論がなされた。 スクールが神奈川県や病院機構と一体的に密接に連携し、観察研究のプラットフォームを提供することで、社会的課題や科学的イノベーションの両方を目指すことが出来るという意見があった。 <p>モレーター 鈴木 寛 文部科学大臣補佐官、東京大学公共政策大学院教授、慶應義塾大学教授 パネリスト 木曾 誠一 株式会社生命科学インスティテュート代表取締役社長 國領 二郎 慶應義塾常勤理事 日色 保 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社代表取締役社長 Sarah Louise Barber WHO健康開発総合研究センター(WHO神戸センター) 所長 Vish V.Krishnan カリフォルニア州立大学サンディエゴ校教授</p>

平成29年10月21日(土)

	<p>「IOHHでつくる ME-BYOヘルスケア」</p> <ul style="list-style-type: none"> 未病改善の取組みへの IoT やビッグデータの活用において、データヘルスを重視する方向性はいいが、上手く利用できる人材が不足しており、AIを活用していくことが必須であるとの意見があった。 7割の無関心層に対し、インフルエンサーなどを活用した取組みが紹介された。 子どものストレスを未病指標として把握する取組みが紹介された。 エビデンスの確立や人材育成も大事だが時間がかかるため、すぐ出来ることをやることが大切との議論がなされた。
セッション③	

	<p>モテレーター 辻野 晃一郎 アレックス株式会社代表取締役社長 パネリスト 遠藤 謙 株式会社Xiborg 代表取締役社長 　　ソニーコンピューターサイエンス研究所アシエイトリサーチャー 久野 譲也 筑波大学大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻教授 　　株式会社つくばウエルネスリサーチ代表取締役社長 渋谷 関志彦 総務省情報流通行政局情報流通高度化推進室長 水野 敬 国立研究開発法人理化学研究所 　　健生き活性羅針盤リサーチコンソーシアム推進プログラム健康計測解析チーム／新規計測開発チーム チームリーダー 山本 雄士 株式会社ミナケア代表取締役 　　Mayoran Rajendra セネラル・エレクトリック・インターナショナル・インクリューションズ 　　キテクト</p>
ランチタイムブレイクセッション	<p>堀口 賞一 株式会社NTTドコモ サービスイノベーション部 岸 曜子 東京大学医学部附属病院 臨床研究支援センター/糖尿病・代謝内科</p>
セッション④	<p>「ME-BYOと行動変容」 　・自發的行動をもたらすインセンティブの活用を、市場システム、政治システム、アカデミアがどう進めていくかについて議論がなされた。 　・行動変容を起こす誘因について、またその医学的效果・経済的效果について様々な事例発表があった。 　・未病指標などを社会システム化していくにあたっては、リスク負担、公平性や効率性をどう考えていくかが今後の課題であると議論がなされた。</p>
	<p>モテレーター 塩澤 修平 慶應義塾大学経済学部教授 パネリスト 梅原 薫 三島市副市長 　　桜井 洋二 東京海上日動あんしん生命保険株式会社常務取締役 　　佐原 康之 厚生労働省大臣官房審議官 　　中村 丁次 神奈川県立保健福祉大学学長 　　Finbarr Martin EU老年医学会(EUGMS)次期会長、 　　カバース・アンド・セントマースNHS財団トラスト名誉コンサルント、 　　キングスカレッジロンドン名誉教授</p>
総括セッション	<p>「ME-BYO未来社会の創造に向けて」 　・各セッションの議論を総括し、目指すべき未来社会を実現するための新たな社会システムの創出にむけ、個人、企業、専門家、アカデミア、自治体、国、国際機関がそれぞれ果たすべき役割と行動目標を整理し、「ME-BYO 未来 戦略ビジョン」としてまとめ、実行していくことを確認した。</p>
閉会	<p>モテレーター 黒岩 祐治 名誉実行委員長、神奈川県知事 パネリスト 塩澤 修平 慶應義塾大学経済学部教授 　　鈴木 寛 文部科学大臣補佐官、東京大学公共政策大学院教授、 　　慶應義塾大学教授 　　辻野 晃一郎 アレックス株式会社代表取締役社長 　　鄭 雄一 東京大学大学院工学系研究科・医学系研究科教授 　　松本 洋一郎 実行委員長、国立研究開発法人理化学研究所理事 　　宮田 俊男 神奈川県顧問、日本医療政策機構理事、厚生労働省参与</p>
閉会挨拶	山口 昇士 副実行委員長、箱根町長

2 展示会「ME-BYO Japan 2017」

(1) 開催概要

アジア最大規模のバイオテクノロジー分野の展示会「Bio Japan 2017」の一角に未病に関するエリアを設け、最先端の未病関連商品やサービス等、未病産業の最新動向を国内外に向けて発信する。

(2) 開催期間

平成29年10月11日（水）～13日（金）10：00～17：00

(3) 会場

パシフィコ横浜 展示ホール（BioJapan2017内）

(4) 入場等

原則事前申込み

(5) 出展企業一覧（計23社・団体）

アサヒ飲料㈱	生活習慣病改善や乳酸菌を活用した腸を起点とする健康維持についての取組み
味の素㈱	血液から現在の健康状態や病気のリスク（可能性）を評価するアミノインデックス技術
アルケア㈱	ロコモティブシンドロームの詳細な状況を把握するための下肢筋力測定装置
アンファー㈱	ホルモンマネジメントをサポートするヘルスケアブランド「Doudou」
イオンリテール㈱	「未病を改善する」ための運動と食事、未病に関する情報発信・コミュニティ機能（社会参加）が連動した従来型ショッピングセンターの枠を超えた取組み
㈱NTTドコモ	デバイス WebAPI の技術を用いて IoT と連携された IoT スマートホーム
㈱エムティーアイ	ICT と人的支援で企業の健康経営推進を推進する「CARADA パック」や妊娠から出産・育児までをサポートする「母子モ」
未病産業研究会	未病産業研究会の活動内容
㈱カネカ	細胞機能を活性化する「コエンザイム Q10」による高齢化社会の健康サポートの取組み等
㈱クレディセゾン	カード会員基盤等の活用による未病関連企業の売上貢献等の取組み
さがみロボット産業特区	手指の動きを助けると同時にリハビリ機能を促進するための補助器具等
湘南ロボケアセンター㈱	ロボットスーツHAL®シリーズ
損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険㈱	自身の健康を支える情報アプリ「Link x siru（リンククロス シル）」等
㈱ディー・エヌ・エー	遺伝子検査「MYCODE」等
ＴＯＴＯ㈱	排便ガス測定装置
富山県	富山県内製薬メーカーのヘルスケア関連製品、富山県における薬物作物の栽培振興・実用化促進の取組み
㈱日本医療データセンター	医療データを根幹にした保健事業支援サービスの取組み
日本調剤㈱	薬局内に設置し健康サポート機能を備える「健康チェックステーション」の取組み
㈱白寿生科学研究所	体の状態を最適化する上で血液の流れに着目した「交流高圧電位治療器ヘルストロン」

株ファンケル	生活習慣病に着目した健康メニュー や、健康づくりに必要な「学び」が自然と身につくレストランの取組み
富士通㈱	スマートフォン等で気軽に歯の健康を守る取組み、非侵襲の血流測定による健康状態の見える化
株ブルックスホールディングス	「食」、「健康」、「癒し」をテーマにした未病パレード「BIOTOPIA」(大井町) の事業展開等
株三菱ケミカルホールディングス	完全人工光型植物栽培システム「Plant Plant™」他

(6) その他のブース

ア 市町村PRブース

市町村の「未病を改善する」取組み、企業誘致などのPR

イ アカデミアブース

大学等による研究成果のPR、体験など

ウ 共用ゾーン

(7) プレゼンテーションエリア

出展者が未病関連商品やサービスに関するプレゼンテーションを実施。(12団体)

(8) 体験エリア

来場者が未病関連商品やサービスを実際に体験し、未病の改善について理解を深めていただいた。

(7) 市町村ツアー・マッチング

市町村の健康課題解決に資する未病関連サービスなどを提供する企業を、市町村職員向けに紹介するツアーを開催(参加者 11市町、14名)するとともに、企業と市町村の個別マッチングを実施(11回)した。

3 県民フォーラム

(1) 目的

未病概念の普及を進め、県民の行動変容の促進につなげていく。

(2) 対象

一般県民

(3) 概要

未病概念を普及する講演やトークショーを中心に、健康チェックコーナーや、ヘルスケアロボットの体験展示、未病関連商品・サービスの体験・展示・販売などの体験型イベントを開催した。

(4) 日程・会場

No.	地域	会 場	日 時	イベント名称（連携先）
1	横浜	県立地球市民かながわプラザ	11月20日(月)	県・市町村未病改善シンポジウム めざそう！元気な人生100歳時代 (かながわ健康財団)
2		クイーンズスクエア	11月25日(土)	健康チャレンジフェアかながわ2017 (かながわ健康財団主催)
3		パシフィコ横浜	12月2日(土)	未病改善県民シンポジウム 今からできる認知症の備え
4	川崎	川崎商工会議所	9月30日(土)	ME-BYOサミット神奈川2017県民フォーラムin川崎 (共催：(地独)神奈川県立産業技術総合研究所、(公財)実験動物中央研究所、後援：川崎市、川崎商工会議所)
5	相模原	イオン古淵店	平成30年2月～3月頃	健康フェアin相模原 (相模原市、イオン)
6	横須賀・三浦	イオン横須賀店	9月2日(土) ・3日(日)	未病を改善!!目指そう生涯現役健康フェアin横須賀 (横須賀市、イオン、県立保健福祉大学)
7	県央	文化創造拠点シリウス	11月26日(日)	健康都市やまとフェア2017×未病を改善する県民フォーラム(大和市)
8	湘南	花菜ガーデン	平成30年3月17日(土)	(仮)花菜ガーデンスポーツイベント (平塚市)
9	県西	me-byo valley “BIOTPIA” (フルックスホールディングス 大井事業所)	調整中	調整中(大井町、ブルックスホールディングス)

※ 各会場において、「食」「運動」「社会参加」等をテーマとした講演や体験イベントを実施

4 ME-BYOキャラバン

(1) 目的

未病概念の普及を進め、県民の行動変容の促進につなげていく。

(2) 対象

一般県民

(3) 概要

県内各所において、市町村等が開催する健康・産業関連イベント等に未病概念をPRするブースを出展する。

(4) 実施箇所

No.	日時	イベント名称	会 場	市町村
横浜				
1	9月16～18日	ヨガフェスタ横浜	パシフィコ横浜	横 浜 市
2	10月27日	横浜マラソンEXPO2017	横浜赤レンガ倉庫イベント広場	横 浜 市
横須賀・三浦				
3	10月7日	ピンクリボンかながわin鎌倉2017	大船観音寺	鎌 倉 市
4	10月9日	体力測定会	逗子アリーナ	逗 子 市
5	11月11、12日	よこすか産業まつり	三笠公園	横須賀市
6	11月19日	三浦市民まつり	潮風アリーナとその周辺	三 浦 市
7	11月25日	生涯現役フォーラム2017	県立保健福祉大学	横須賀市
県央				
8	5月13、14日	大和市民まつり	引地台中学校等	大 和 市
9	6月4日	健康フェスタあいかわ2017	健康プラザ、文化会館	愛 川 町
10	7月4日	清川村健康まつり	保健福祉センターやまびこ館	清 川 村
11	7月30日	サンスターファミリーミュージカル	文化創造拠点シリウス	大 和 市
12	10月9日	海老名スポーツフェスタ2017 (未病と健康づくりトークショー)	海老名市運動公園小体育室	海老名市
13	10月28日	健康・スポーツフェスティバル	保健福祉プラザ	綾瀬 市
14	11月19日	座間市健康まつり	座間中学校	座 間 市
湘南				
15	9月5日	こころの健康セミナー	大磯町保健センター	大 磯 町
16	10月1日	大磯チャレンジフェスタ2017	大磯町運動公園	大 磯 町
17	11月3日	市民の日	カルチャーパーク	秦 野 市
18	11月18日	「健康パス」測定会	市役所分室駐車場	伊勢原市
19	11月19日	湘南にのみやふるさとまつり	ラディアン	二 宮 町
20	11月23日	大磯町歯及び口腔の健康づくり推進条例PRイベント	大磯町保健センター	大 磯 町
21	3月2日	「女性の健康週間」イベント(仮)	湘南モールフィル	藤 沢 市
県西				
22	8月6日	足柄金太郎まつり	富士フィルムグラウンド	南足柄市
23	10月9日	かいせいスポーツフェスティバル	開成水辺スポーツ公園	開 成 町

No.	日時	イベント名称	会 場	市町村
24	10月14日	HAKOJO MARCHE 2017	箱根やすらぎの森	箱根町
25	10月15日	美・緑なかいフェスティバル(雨天中止)	中井中央公園	中井町
26	10月22日	ふれあい広場産業まつり(雨天中止)	町民グラウンド	湯河原町
27	11月11、12日	真鶴龍宮祭	真鶴港 岸壁広場	真鶴町
28	11月18、19日	城下町おだわらツーデーマーチ	小田原城址公園ほか	小田原市
29	11月23日	山北町産業まつり	山北健康福祉センター	山北町
30	11月26日	まつだ産業まつり	松田駅北口広場	松田町
31	12月3日	健康フェスタ	市保健医療福祉センター	南足柄市